



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順

コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	31,580	2.8	△926	—	△1,143	—	△1,577	—
26年3月期第2四半期	30,714	19.2	565	23.8	509	137.4	216	△1.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △2,340百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 1,972百万円 (590.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	△180.01	—
26年3月期第2四半期	22.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	53,766	9,811	11.4
26年3月期	54,303	11,889	14.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,112百万円 26年3月期 7,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	64,000	△3.1	△1,400	—	△2,100	—	△2,500	—	△285.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,771,000 株	26年3月期	9,771,000 株
27年3月期2Q	1,004,855 株	26年3月期	1,004,855 株
27年3月期2Q	8,766,145 株	26年3月期2Q	9,766,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では緩やかな景気の持ち直しに伴い消費者マインドが改善し、中国では政府の景気支援策により景気下振れに歯止めがかかっております。しかしながら、タイでは政情混乱に伴う景気減速により経済の正常化が急務となっており、日本では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減による影響が顕在化するなど、景気の下振れリスクがあるものの、全体として緩やかな回復基調を維持した状況で推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では引き続き堅調な需要を維持しているものの、中国では深刻化する大気汚染に伴い自動車の購入規制導入を検討する都市数が増え、購買意欲の低下が懸念されております。更に、日本では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要で膨らんでいた受注残が一巡し反動減が鮮明になっているほか、地球環境問題や衝突安全性能などの社会的な要求は高まり続けており、業界として対処すべき課題は年々増え続けております。

このような状況のもと、当社グループは、当連結会計年度を初年度とする「第6次中期経営計画」に基づき、国内収益の改善をはじめとする様々な施策に取り組み、国内事業の自主自立、競争力の強化など、基盤収益の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31,580百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業損失は926百万円（前年同四半期は565百万円の営業利益）、経常損失は1,143百万円（前年同四半期は509百万円の経常利益）、四半期純損失は1,577百万円（前年同四半期は216百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、消費増税前の駆け込み需要による影響を受けたものの、人員の適正配置を含めた生産効率化と製造原価低減に向けた継続的な取り組みなどにより売上高は前年同四半期を上回る状況で推移し、利益は改善いたしました。

売上高は7,397百万円（前年同四半期比2.6%増）、経常損失は197百万円（前年同四半期は276百万円の経常損失）となりました。

(タイ)

タイにおいては、軍事クーデターにつながった政情混乱の影響に加え、自動車の初回購入支援制度の終了による主要取引先の減産の影響を受けたほか、近隣諸国における完成車の現地生産拡大に伴う輸出の減少、国内消費の冷え込みなどにより、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

売上高は4,213百万円（前年同四半期比41.3%減）、経常損失は736百万円（前年同四半期は852百万円の経常利益）となりました。

(広州)

広州においては、中国経済の安定した成長を背景に需要が増加し、主要客先の生産が好調に推移したほか、経費削減および高効率ライン構築の推進による原価低減などにより、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

売上高は8,357百万円（前年同四半期比58.5%増）、経常利益は407百万円（前年同四半期は103百万円の経常損失）となりました。

(武漢)

武漢においては、広州と同様に中国経済の安定成長の影響を受けて需要が増加したほか、固定費を始めとするコスト削減の推進などにより、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

売上高は3,207百万円(前年同四半期比26.5%増)、経常利益は237百万円(前年同四半期比35.2%増)となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、様々な体質強化施策の推進を行ってきたものの、品質コストの増加に伴う製造原価高などにより、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

売上高は8,446百万円(前年同四半期比3.9%減)、経常損失は542百万円(前年同四半期は82百万円の経常利益)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響はあるものの、保険及びサービス部門の収益増加などにより、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

売上高は1,611百万円(前年同四半期比26.3%増)、経常利益は4百万円(前年同四半期は3百万円の経常損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、53,766百万円となり、前連結会計年度末と比較し、537百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が733百万円減少、受取手形及び売掛金が1,131百万円減少、仕掛品が453百万円減少、有形固定資産が2,459百万円増加したことが要因であります。

負債総額は43,955百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,540百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が949百万円減少、短期借入金が325百万円増加、長期借入金が2,616百万円増加、リース債務が310百万円増加したことが要因であります。

純資産は9,811百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,078百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が1,187百万円減少、為替換算調整勘定が546百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成26年5月7日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年10月27日に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
(税金費用の計算)	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
(退職給付に関する会計基準等の適用)	<p>「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法をイールドカーブ直接アプローチへ変更いたしました。</p> <p>退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。</p> <p>この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が83百万円増加及び退職給付に係る負債が353百万円減少し、利益剰余金が407百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ6百万円減少しております。</p>

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,486	1,753
受取手形及び売掛金	10,103	8,972
商品及び製品	494	487
仕掛品	2,395	1,941
原材料及び貯蔵品	1,639	1,418
その他	2,024	1,595
貸倒引当金	△12	△5
流動資産合計	19,131	16,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,739	8,479
機械装置及び運搬具(純額)	7,294	8,678
工具、器具及び備品(純額)	6,544	6,673
土地	2,164	2,154
リース資産(純額)	1,251	1,943
建設仮勘定	9,001	7,525
有形固定資産合計	32,995	35,455
無形固定資産	246	245
投資その他の資産		
その他	1,946	1,920
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,929	1,903
固定資産合計	35,172	37,604
資産合計	54,303	53,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,062	8,112
短期借入金	14,573	14,899
リース債務	336	583
未払法人税等	457	151
賞与引当金	223	230
その他	4,017	3,842
流動負債合計	28,671	27,819
固定負債		
長期借入金	10,690	13,306
リース債務	1,030	1,093
退職給付に係る負債	1,397	1,070
資産除去債務	86	86
負ののれん	2	—
その他	537	578
固定負債合計	13,743	16,135
負債合計	42,414	43,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,668	3,480
自己株式	△626	△626
株主資本合計	6,015	4,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	499
為替換算調整勘定	1,620	1,073
退職給付に係る調整累計額	△323	△288
その他の包括利益累計額合計	1,761	1,285
少数株主持分	4,112	3,698
純資産合計	11,889	9,811
負債純資産合計	54,303	53,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	30,714	31,580
売上原価	27,895	30,336
売上総利益	2,818	1,243
販売費及び一般管理費	2,253	2,170
営業利益又は営業損失(△)	565	△926
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	16	12
為替差益	163	42
その他	34	72
営業外収益合計	219	132
営業外費用		
支払利息	251	334
その他	23	15
営業外費用合計	274	349
経常利益又は経常損失(△)	509	△1,143
特別利益		
固定資産売却益	33	29
その他	28	62
特別利益合計	61	91
特別損失		
固定資産売却損	5	2
その他	—	39
特別損失合計	5	41
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	565	△1,094
法人税等	237	557
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	328	△1,651
少数株主利益又は少数株主損失(△)	112	△73
四半期純利益又は四半期純損失(△)	216	△1,577

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	328	△1,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	35
為替換算調整勘定	1,591	△759
退職給付に係る調整額	—	35
その他の包括利益合計	1,643	△688
四半期包括利益	1,972	△2,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,430	△2,054
少数株主に係る四半期包括利益	541	△286

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	6,009	7,152	5,053	2,437	8,792	1,269	30,714
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,200	25	219	97	0	6	1,549
計	7,209	7,177	5,272	2,535	8,792	1,276	32,263
セグメント利益又は損失(△)	△276	852	△103	175	82	△3	726

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	726
セグメント間取引消去	△44
子会社配当金	△169
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の経常利益	509

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	6,271	4,184	8,030	3,039	8,446	1,607	31,580
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,126	29	327	167	0	3	1,654
計	7,397	4,213	8,357	3,207	8,446	1,611	33,235
セグメント利益又は損失(△)	△197	△736	407	237	△542	4	△827

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△827
セグメント間取引消去	△15
子会社配当金	△298
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の経常損失	△1,143